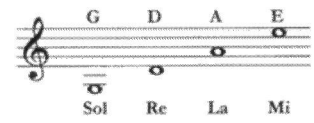


マンドリン（英: Mandolin、独・仏: Mandoline、伊: Mandolino）はイタリア発祥の撥弦楽器

現在、もっとも一般的にみられるのは17世紀中頃に登場したナポリ型マンドリンから発展したもので弦はスチール製の8弦4コース、調弦はヴァイオリンと同じく低い方からG-D-A-E。ただしヴァイオリンと違って指板にはフレットがあり、弓ではなくピックを使って演奏する。マンドリンはギターと同じく持続音が出せない楽器である。この問題は高音においてギターより大きな問題となり、その結果、持続音を模したトレモロ奏法が使われる。その他の奏法には、アルペジオ、ピッツィカート、ハーモニクスなどがある。



〈マンドリン〉の項、ウィキペディア百科事典より引用
<http://ja.wikipedia.org/wiki/>

種類

マンドリンには、イチジクの縦割りに例えられるボールバックのナポリ型や、フラットバックのポルトガル型、バンジョーの半分のサイズのバンジョー型等がある。また、南米には10弦（ペルー）・12弦（ボリビア）などのマンドリンも存在する。ナポリ型マンドリンは糸巻軸の金属棒が外に飛び出ているタイプのマンドリンを指し、ローマ型マンドリンはギターと同じ方式の糸巻軸をしているものを指す。イタリア起源の、リュートから派生したものは「マンドリン」、スペイン・ポルトガル起源の、ギター（ヴィエラ）から派生したフラットタイプのもは（南米でもよく使用される）「バンドリン」と呼ばれるが、奏法は同じで、音もよく似ている。マンドリン属の弦楽器には他にマンドラ、マンドロンチェロ、マンドローネなどがある。

松井クラシックのつどい 今後の演奏会予定		
月・日	演奏会名	プログラム
7月14日(土)	小澤佳永ピアノリサイタル	東京藝大及び同大学大学院修士課程ピアノ専攻修了。海外の国際ピアノコンクールにて入賞。技巧だけにとらわれない繊細な情感表現が好感。
8月はお休みです。定例演奏会はありません。		
9月08日(土)	荒 絵里子オーボエリサイタル	第73回日本音楽コンクールで審査委員全員の満場一致による第1位。多くの賞歴と共に、齋藤記念オーケストラ、小澤征爾音楽塾にも参加。現在、東京交響楽団首席オーボエ奏者。
10月13日(土)	第16回フレッシュコンサート	『日本の音楽コンクールガイド(発刊 株シヨパン)』にも継続掲載されるようになり、出演希望者のオーディションに対しては、プロを目指すクラシック音楽家の登竜門として確実に評価され、認められることになった。
11月10日(土)	石田 多紀乃 ピアノリサイタル	どうして、このピアニストをテレビや大型コンサートで見かけないのか? 鋭く、そして深いけれど、溢れる情感を包み込んだ演奏技術。松井クラシックのスタッフ全員が文句なしにお薦めする、必聴No.1の通算第3回目のご出演。
12月08日(土)	カペラッテ	松井ではもうおなじみの、女性三声のア・カペラ・ヴォーカルアンサンブル。イギリス民謡、中性音楽から日本古謡、沖縄の伝承曲までレパートリーは広い。澄みわたるのびやかなア・カペラの響き...美しさを極めるソプラノ3人による絶妙のヴォーカル、今回はクリスマスのこの季節に何を聴かせてくれるだろう。

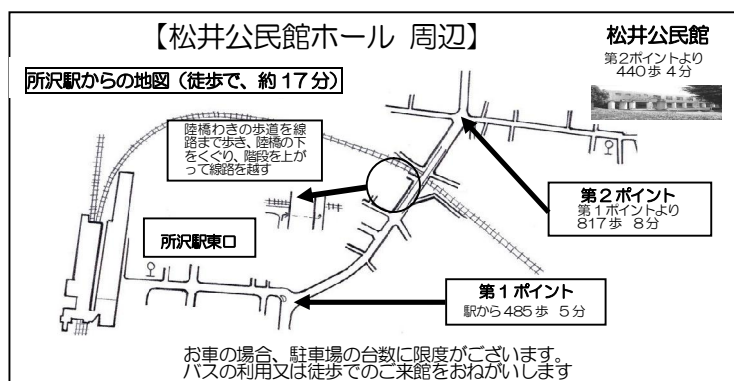
女性スタッフ募集!

◇松井クラシックのつどいのスタッフが高齢化しております。また、女性スタッフが少なく、40,50歳代の女性スタッフを募集しております。クラシック音楽がお好きな方に参加頂き、会を盛り上げていただくとともに、次の世代を担っていただけないでしょうか?
 ◇出演者交渉、チラシ・プログラムの作成、演奏会の企画・運営等々、お好きな部分を担当していただき、会の運営を計るスタッフとして参加をお待ちします。



【演奏会終了後の懇談会の風景】

20分ほどの時間ですが、質疑を中心とした、出演者のお話を直に聞くことができます。出演者の生の声が聞けるといって、普通の演奏会では経験できない松井クラシック独特のプログラムに大変ご好評をいただいております。皆様のご参加をお待ちしています。



【交通案内】 バスをご利用の場合

◇西武線 所沢駅東口から
 「清瀬駅北口」行き、
 「志木駅南口」行き、
 「エステシティー」行き、にて
 【西武秋津団地】下車

◇武蔵野線 東所沢駅から
 「所沢駅東口」行き、にて
 【西武秋津団地】下車

※ バス停前が松井公民館です。

松井クラシックのつどいは、第10回志島音楽賞を受賞いたしました。